

「土地利用型営農技術の実証研究」

現地検討会及び室内検討会

食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」の平成27年度現地検討会が平成27年7月14-15日に開催されました。

1 現地検討（7月14日）

土地利用型営農技術の実証研究が行われている有限会社耕谷アグリサービス（名取市下増田）周辺のは場を見学しました。



大区画ほ場における乾田直播の説明



広畝成形同時播種方式の乾田直播栽培ほ場にて



乳苗疎植栽培の説明



トラクターの運転支援装置の実演



(有) 耕谷アグリサービス事務所前にて



営農機械の説明

2 室内検討会（7月15日）

3つの大課題ごとに研究の進捗状況や今後の計画が説明され、熱心な質疑応答が行われました。

- 1) 「大区画ほ場におけるプラウ耕乾田直播等を核とした低コスト2年3作水田輪作体系の実証」
- 2) 「津波被災農地の圃場環境に対応した中型機械の汎用利用による低コスト3年4作輪作体系の実証」
- 3) 「大規模水田農業を支援するICTを活用した栽培管理及び経営管理の支援技術の実証」



室内検討会の様子